

# 福岡県公立高校入試徹底分析【社会】

## 【形式・難易度】

試験時間	50分	配点	60点
問題構成	大問6題。地理・歴史・公民の分野ごとに大問各2題の出題である。 歴史は、古代～現代の大問で12点、それとは別に近現代の大問で8点の計20点。 地理は、世界地理の大問で10点、日本地理の大問で10点の計20点。 公民は、現在の課題に関する論述中心の大問で14点、それ以外の大問で6点の計20点。 論述問題の配点が昨年よりは上がった。これまでは5割前後の出題になっている。		

	令和5年度(2023)	令和4年度(2022)	令和3年度(2021)	令和2年度(2020)	平成31年度(2019)
問題量 (A4で)	9ページ分	9ページ分	9ページ分	9ページ分	9ページ分
小問数	36問	35問	36問	28問	30問
論述問題の数	12問	12問	12問	15問	12問
論述問題配点	26点	23点	25点	38点	28点
受験者平均点	33点	33点	35点	29点	38点

## 【出題の傾向と対策】

① 歴史では、過去の出題と似た問題が出題されることがあるので、過去の論述問題を解いておく。

R3 1  
問2 下の□内は、下線部②についてまとめたものである。①の( )にあてはまるものを一つ選び、記号を書け。また、[ ⊕ ]にあてはまる内容を、資料Iから読み取り、「娘」の語句を使って書け。

〈資料I〉の系図(一部)

```

            graph TD
            A[平清盛] --- B[徳子]
            B --- C[高倉天皇]
            B --- D[重盛]
            C --- E[安徳天皇]
            style C fill:#f0f0f0
            style E fill:#f0f0f0
            
```

平清盛は、①(a 征夷大將軍, b 太政大臣)になり、武士として初めて政治の実権を握り、[ ⊕ ]にして、権力を強めた。

①「娘」を使う論述の問題は平成27年度にも出題されている。

② その時代におこった政治・外交・文化・産業に関するものを選ぶ問題が多いため、時代ごとに内容を整理して覚えておく。

R4 1  
問5 (1) [ア]～[ウ]にあてはまるものを、次の1～4からそれぞれ一つ選び、番号を書け。

古代 ○ ① 律令に基づいた政治が行われた。 ○ [ア]	中世 ○ ② 武士による支配のしくみが整えられた。 ○ [イ]	近世 ○ ③ 幕府による大名支配のしくみが整えられた。 ○ [X]	近代 ○ アジアで最初の立憲制国家となった。 ○ [ウ]
------------------------------------	---------------------------------------	---	------------------------------------

1 名主(庄屋)・組頭・百姓代などの村役人が、年貢納入の責任を負った。  
 2 惣とよばれる自治組織がつくられ、寄合を開いて村の掟が定められた。  
 3 6歳以上の人々には口分田が与えられ、税や労役が課された。  
 4 土地を所有する権利が認められ、土地の所有者には地券が発行された。

② 村役人が江戸時代、惣が室町時代、口分田が飛鳥～奈良時代、地券が明治時代であることを整理し、覚えておく必要がある。

③ 近代～現代の事件の順番並べが出題されるので、近代～現代の年代を覚えておく。(問題例省略)

④ 近・現代史のわが国と海外の国々との関係についてよく出題されるので、関係を整理して覚える。

⑤ 産業史に関して、資料をつかった論述問題がほぼ毎年出題されるので、過去の問題で出題パターンを把握し、教科書の表やグラフにもよく目を通しておく。

R3 2  
問3 健太さんは、下線部③の前後の時期について調べ、資料IIを作成した。下線部③が、わが国の生糸の貿易に与えた影響を、資料IIから読み取り、Dのカード、資料IIのPにあてはまる国名を使って書け。

D  
③ Pで株価が暴落し、世界恐慌が始まった。

④ 世界恐慌のころのわが国の貿易相手国に関して整理が必要。

⑤ 第一次世界大戦時の好景気による貿易黒字や世界恐慌の時期の生糸の輸出額の推移はよく出題される。

〈資料II〉 わが国の生糸輸出額の推移

1928年	732.7
1929年	781.0
1930年	416.6
1931年	355.4

(「日本貿易概観」から作成)

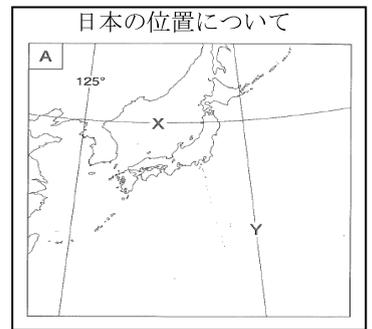
⑥地理では、緯度・経度に関する問題がよく出題されるので、赤道・北緯40度、本初子午線などの緯線・経線の位置を覚え、各国のどこを通過するかを確認しておくこと。

⑥ 日本の周囲の緯線・経線は5度間隔で覚える。

R5 4

問1 略地図Aについて、Xは緯線、Yは経線を示す。Xの緯度とYの経度とを正しく組み合わせたものを、次の1～4から一つ選び、番号を書け。

- 1 Xは北緯50度、Yは東経145度      2 Xは北緯50度、Yは東経155度  
3 Xは北緯40度、Yは東経145度      4 Xは北緯40度、Yは東経155度



⑦会話文やノートにまとめた内容などを利用した穴埋め形式の論述問題が、ここ数年増えているので、空欄の前後をしっかりと読んで、適切な内容を書けるようにしておくこと。

R4 5

問2 下の□内は、下線部②に関して作成した資料Iについて、まとめた内容の一部である。〔ⓧ〕にあてはまる内容を書け。また、(Ⓨ)にあてはまるものを、資料Iのア～エから一つ選び、記号を書け。

2016年から2017年に開かれた国会のうち、〔ⓧ〕ことを主な議題として開催される特別会にあたるものは、(Ⓨ)である。

⑦ 空欄の前後を読み、文脈に合うように答える。

〈資料I〉2016年から2017年の期間に行われた選挙と開かれた国会（常会を除く）

選挙名	選挙期日	国会の種類	召集	閉会
第24回参議院議員通常選挙	2016年7月10日	ア	2016年8月1日	2016年8月3日
第48回衆議院議員総選挙	2017年10月22日	イ	2016年9月26日	2016年12月17日
		ウ	2017年9月28日	2017年9月28日
		エ	2017年11月1日	2017年12月9日

(衆議院ホームページ等から作成)

⑧地理・公民分野では、複数の資料を読み取って書く論述問題が出題されるので、資料どうしを関連づけながら、資料の語句や指定語句を使って、答えを書く練習をする。

R5 6

問3 会話文の〔エ〕にあてはまる内容を、資料II～IVから読み取れることを関連づけて、「雇用」の語句を使って書け。

(会話文)

由紀： A町では、資料IIのような取り組みを行い、成果を上げているよ。資料IIのような取り組みを行うことで、〔エ〕ができてきているのだね。

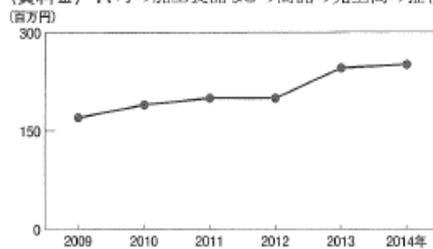
健太： このような取り組みを他の地域でも進めていくために大事なことは何かな。

由紀： 地域の様々な立場の人たちが、協力して取り組んでいくことが大事ではないかな。そのことが、地域の活性化に結びつくと考えられるよ。

〈資料II〉2005年以降のA町での取り組み

- 商品開発や販売のため、町役場が中心となって出資し、企業を立ち上げる。
- 町役場や地元の漁師、農家が協力して、A町の花産物や農産物を使用した加工食品などの開発や生産を行い、地元の市場に出荷するだけでなく、直接、大都市の小売業者に販売する。

〈資料III〉A町の加工食品などの商品の売上高の推移



〈資料IV〉A町の農林漁業及び食品製造業の事業所数と従業者数の変化

2009年の事業所数を1としたときの 2014年の事業所数の割合	1.31
2009年の従業者数を1としたときの 2014年の従業者数の割合	1.46

⑧資料IIから、町役場や地元の漁師や農家が協力して「何をしているか」を書く。

⑧資料IIIから、「商品の売上高をのばしている」ことを書く。

⑧資料IVから、事業所数と従業者数が増加していることを指定語句「雇用」を使用して書く。

## 解答

R3 1 問2 ① b    ②(例) 娘をきさき(娘を天皇のきさきとし、生まれた子どもを天皇)

R4 1 問5(1) ア 3    イ 2    ウ 4

R3 2 問3(例) 生糸の最大の貿易相手国であるアメリカへの生糸輸出額が大きく減少した。

R5 4 問1 3

R4 5 問2 ⑧(例) 内閣総理大臣を指名する    ⑨ エ

R5 6 問3(例) 町役場や地元の漁師や農家が協力して、開発や生産を行った商品の売上高をのばし、雇用を増やすこと